

## 令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京IT会計公務員専門学校千葉校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和4年度学校関係者評価委員会

#### <評価委員> (五十音順)

井野崎徹也氏：立志舎高等学校 教諭  
大沼 泰之氏：東京舗装工業株式会社 管理部 担当部長  
加藤 雅史氏：株式会社目標管理トレーニング 代表取締役  
黒川 千尋氏：一般社団法人日本鉄鋼協会 経理グループ  
高地 優輔氏：社会福祉法人槇の里 いすみ学園  
塚本 充裕氏：株式会社アトス・インターナショナル 管理部  
中村 直孝氏：司法書士・行政書士にしき事務所 代表  
東村 舜氏：富士ソフト株式会社 国際事業部 第3技術部  
NW マネジメントグループ 担当  
増田 智光氏：さいたま行政書士合同事務所 代表  
山田 悠稀氏：横浜市役所 こども青少年局 保育・教育認定課

#### <事務局>

富永 大策：東京IT会計公務員専門学校千葉校 校長  
鈴木 裕：東京IT会計公務員専門学校千葉校 教務部課長  
大野 雅一：東京IT会計公務員専門学校千葉校 教務部課長  
小田島 光治：東京IT会計公務員専門学校千葉校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価 ・ 意 見
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>(1) 在学中はゼミ学習で伝える力が身につきました。またインプットしやすい学習方法だと思います。ゼミ学習で身についた話すこと・伝えることは面接にも活かされました。</p> <p>(2) ホームページがよく整理され見やすくなっています。本学の特色は、学生、保護者に周知されていると思います。</p> <p>(3) 校名変更もあり、学科の目的がわかりやすくなっており、各学科の目的が業界のニーズに向けて方向づけられていると評価できます。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>(1) 学園の基本目標が、在校生、職員に浸透されていると思いますので評価は妥当であると思います。</p> <p>(2) 人材確保が各業界とも難しい中、人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を立ち上げ改善を図っているのは素晴らしいと思いますので評価は妥当と思われる。</p> <p>(3) 様々な意思決定システムのプロセスが制度化されていますのでこの評価は適切と考えます。</p> <p>(4) Web ページを確認しましたが、様々な実績関係などをタイムリーに掲載していますので妥当だと考えます。</p> <p>(5) 早い段階で VPN の導入を行い、これが情報のデータベース化にもつながり様々な場面で役立っていると考えます。このような事が各職員の IT リテラシー向上にも繋がり、昨今のオンライン授業もスムーズに実現できていると思われる。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>(1) 外部委員の意見を参考に、カリキュラムを定期的に見直していることはとても評価できるものです。これからもビジネスの現場の意見を真摯に受け入れ、時代に即したカリキュラムを提供し、即戦力となる人材をこれからも輩出して頂きたいと思います。また、実社会では、積極性はもちろん、コミュニケーション能力は無くしてはならないものです。現在、授業で取り入れているゼミ学習は、学生同士でコミュニケーション能力を高め合う仕組みとなっており、非常に理にかなったものです。現場の先生方におかれましては、引き続き、ゼミ学習を通じて、学生のコミュニケーション能力の引き上げに尽力して頂きたいと思います。</p> <p>(2) 官公庁や企業の担当者から定期的にアンケートをとり、常に社会が求める人材像を学生に明示し、その求める人材像に対応する教育を行っていることは非常に評価できます。実際に、企業や官公庁に大多数の学生が就職できていることを鑑みて、妥当であると判断しました。</p> <p>(3) 必要に応じたセミナーや説明会の実施、企業と連携した授業を展開するなど、時代に合った工夫がなされていると思います。</p>

	<p>(4) 学生によるアンケートで自己評価をして、外部委員の意見をもとに見直し、さらに評価委員会等で総合的に検討するという一連の評価体制は妥当であると評価できます。</p> <p>(5) 昨今のコロナ禍により人材確保が厳しい中、人材確保と育成を目的としたプロジェクトを立ち上げたことは評価できます。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p><b>【IT ビジネス学科、経理・情報研究学科】</b></p> <p>(1) IT系企業でも基本情報でさえ入社時にほとんど持っていないのが現状です。1年目の社員に基本情報を受験させますが、30%ぐらいしか合格できませんでした。専門学校在学中に難関な資格の合格をすることはすごいことだと思います。</p> <p>(2) コロナ禍の状況の中、資格の合格率、就職率が高いのは素晴らしいと思います。これは先生方の指導が素晴らしいからだと思います。</p> <p>(3) 単に資格のみの勉強ではなく、システム構築をチーム単位で行うなど、実務に即した実践演習にも力を入れておられることは、採用する企業側にとっても、非常に心強いと思います。実践演習と資格の勉強がリンクし、相乗効果が得られていると感じました。</p> <p><b>【会計学科、経理・情報研究学科】</b></p> <p>(1) 資格実績・就職実績も高く、特に大手の企業に就職を決めているのはすごいことです。学生のためにも来年以降も継続して高い実績を上げて欲しいと思います。</p> <p>(2) 日商簿記1級、税理士など難しい資格に合格していること、就職をきちんとしていることは素晴らしいです。</p> <p><b>【法律学科、法律社会学科、行政学科、法律研究学科】</b></p> <p>(1) 就職率は素晴らしい実績だと思います。筆記試験だけでなく、面接試験を含めて、この結果を出せるのは、ゼミ学習等の学修システムが機能しているからだだと思います。これも担任の方々の努力のたまものだと思います。</p> <p>(2) 例年通り素晴らしい就職結果です。特に地元の公務員として就職できている人が多いことは、学生の方が希望の就職が出来て、良いと思います。</p> <p>(3) 希望者ほぼ全員が就職できるのは素晴らしいです。この就職率は、先生の熱意ある指導のたまものであると思います。</p> <p>(4) コロナ禍の状況の中で、授業をオンラインで実施するなど準備も大変だと思います。今後も成果を上げられるように頑張ってください。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>(1) 非常に恵まれていると思います。当社でも奨学金を入社後に返済している方が多い中、給付型などの様々な支援体制が整っているのは素晴らしいと思います。さらにモバイルルーターやノートパソコンの貸出なども実施しているのは大変すばらしい。</p>

	<p>(2) 健康診断はもちろんのこと、実際に校舎へ訪問したときにもコロナ対策などもしっかりされていることから、評価は妥当であると判断しました。</p> <p>(3) 評価は妥当だと思います。昨年はコロナ禍で活動できていないようですが、私も学生時代に部活に参加し貴重な経験をすることができましたので、次年度は是非再開してもらいたいと思います。</p> <p>(4) 初めての一人暮らしですと生活が乱れる可能性もあるので、学生寮などの支援をすることは重要だと思います。以上のことから評価は妥当だと思います。</p> <p>(5) 無料でのキャリア教育を高校生に実施しているのは素晴らしいと思います。このような取り組みは有意義なものであり今後も継続していただきたい。</p>
基準6 教育環境	<p>(1) 設置基準に従って設置していること、定期的に点検整備を行っているということなので、問題ないと思います。</p> <p>(2) 定期的に防災訓練を実施し、また教職員や学生に、防災に対する意識の喚起を行っているので、評価は適切であると考えます。</p>
基準7 学生の受け入れ募集	<p>(1) 単年度の実績や合格者の氏名を公表していることは、入学を決める際の情報としてとても役立ちました。</p>
基準8 財務	<p>(1) 公開されている財務情報を拝見しました。少子化の中でも新しいコースの設置など積極的に挑戦しているところが財務を安定させているのではと感じました。監査についても複数名で管理しており報告書も提出されていますので評価は妥当と思います。</p>
基準9 法令等の遵守	<p>(1) 時代や価値観が大きく変わってきている中、教職員が毎年研修を受けて、新たな知識を習得していることは評価できます。</p> <p>(2) 自己点検・自己評価を行っていることは素晴らしい。今後もチーム一丸となり自己点検・自己評価を行っていただきたいと思います。</p>
基準10 地域貢献	<p>(1) 各校とも、ボランティア、地域貢献はできていると思います。まだまだいろいろできるとあって、ほぼ適切な3を付けているようですが、4でも良いと思います。</p>